

ルメンタム ホールディングス(LITE)

【セクター】 光部品製造

信買

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

光学部品メーカー。2015年に通信ソリューションを提供するJDSユニファーズ（現ビアビ・ソリューションズ）から独立しました。2026年6月期の売上構成比は、部品が65%、システムが35%です。2025年6月期からセグメントが現行の区分に変更されましたが、2024年6月期の売上構成比はクラウド&ネットワーキングが80%、インダストリアルテックが20%で、データセンターや通信事業者向けオプティカル製品の構成比が高いと推定されます。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
25.6期	1,645	31	0.44	0.00	16.3	2.5	26.9
26.6期	3,014	484	6.49	0.00	52.4	-240.0	63.5
27.6期（予）	6,264	2,193	21.42	0.00	77.9	33.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】

4つの成長エンジン

(1) クラウド・トランシーバー・・・光トランシーバーは、電気信号と光信号を相互変換する送受信機器。

(2) OCS（optical circuit switches）・・・光信号を電気に変換せず、光のまま通信経路を切り替えるスイッチ技術。

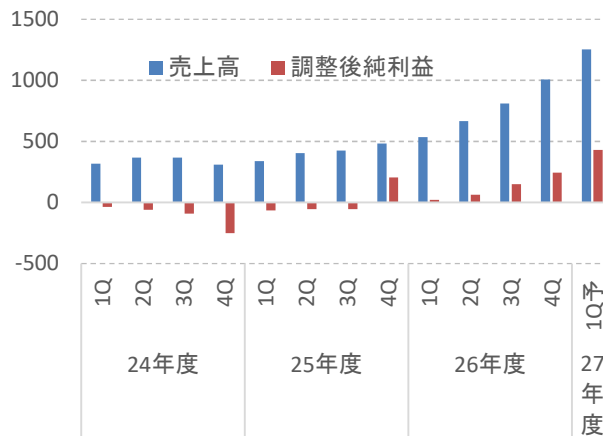
(3) CPO（co-packaged optics）のスケール・アウト

(4) CPOのスケール・アップ

CPOはAI半導体チップのパッケージの中に光通信のモジュールを搭載する技術。スケール・アウトは数量の増加、スケール・アップは部品当たりの能力拡張を意味する。

（出所）会社資料（2026年3月）よりSBI証券作成

四半期業績の推移（百万ドル）



（出所）BloombergデータをもとにSBI証券作成

【会社の見方】

通信サービス企業の設備投資が低調に推移したことから、光通信関連企業の業績は長らく低迷してきました。しかし、生成AIモデルの誕生によってその計算量が巨大化したことで、AIデータセンター内部での光通信需要が急増したことや、AIデータセンター間の通信需要も増加したことにより、光通信関連企業の業績が急激に改善しています。AIデータセンターへの投資は、中期的にも増加が想定されていることから、光通信関連企業が恩恵を受けると期待されています。OCS（optical circuit switches）、CPO（co-packaged optics）といった、光通信の新技术への対応により、高い成長が期待されています。

【見通し・注目点】

4-6月期決算はAIデータセンターで光通信技術の採用が広がったことを受けて売上が前年同期比109.3%増、調整後EPSが同3.7倍で、いずれも市場予想を上回りました。調整後営業利益率は36.6%で、前年同期比21.6%ポイント、前四半期比4.4%ポイントの大幅な改善となりました。7-9月期ガイダンスは、売上が12.25～12.75億ドル（前年同期比129～139%増相当）で、調整後営業利益率は39.5～40.5%となる見通しです。CEOは、「光通信技術はAIサーバーラック間の通信にも使われ始めており、当社のTAM（獲得可能な最大市場規模）は大幅に広がった」とコメントしています。

本レポートに関するご注意事項

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりつく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号、商品先物取引業者

加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会